



PECS®と重要なコミュニケーション・スキルの目標

学習者名:	
所属:	

目標	基準	開始日	達成日
フェイズ1			
1. 学習者は、あるアイテムを見て欲しくなり、そのアイテムの絵カードが手近にあると、その絵カードを手に取り、そのアイテムを持っている人に手を伸ばして、絵カードを手渡す。	トレーナー3人、活動3種類、強化子5種類について、トレーナーが手の届く範囲にいる場合に、10回の機会のうち9回は要求の行動連鎖を自立してできる。		
フェイズ2			
2a. あるアイテムを見て欲しくなり、その絵カードだけが貼ってあるコミュニケーション・ブックが、手の届くところにある場合、学習者はその絵カードをブックから取り、コミュニケーション・パートナー（CP）のところまで行って、その絵カードを手渡す。	強化子5種類、トレーナー5人について、10回の機会のうち9回は、要求の行動連鎖を自立してできる。そのときCPは:		
	a) 5歩離れている		
	b) 10歩離れている		
	c) 部屋の反対側にいる		
2b. あるアイテムを見て欲しくなり、その絵カードだけが貼ってあるコミュニケーション・ブックがあると、学習者はブックのところまで行って、絵カードまたはブックをコミュニケーション・パートナー（CP）のところまで持って行き、絵カードを手渡す。	強化子5種類、トレーナー5人について、10回の機会のうち9回、自立して要求行動連鎖をできる。そのときのブックは:		
	a) 1.5メートル先		
	b) 3メートル先		
	c) 部屋の反対側		
フェイズ 3A			
3A. あるアイテムを見て欲しくなり、その絵カードとダミー（欲しくない物）のアイテムの絵カードが貼ってあるPECSブックが使用可能な場合、学習者はコミュニケーション・パートナー（CP）に欲しい方の絵カードを手渡す。	強化子5種類、ダミーアイテム3種類、トレーナー5人について、10回の試行のうち9回は欲しい方の絵カードを手渡す。		
フェイズ 3B			
3B. 強化子2-5種類を見て、それらの絵カードが貼ってあるPECSブックが使用可能なら、学習者はCPに1枚の絵カードを手渡し、「どうぞ」とか「取って」などと言われると、対応するアイテムを選び取る [対応チェック]。	強化子5種類、トレーナー5人について、10回の試行のうち9回は欲しい方の絵カードを手渡す。		
	a) 2枚の絵カードの配列		
	b) 3枚の絵カードの配列		
	c) 4枚の絵カードの配列		
	d) 5枚の絵カードの配列		
	e) ブックの中のすべての絵カード		
3-Ph.2 維持: 部屋の反対側に強化子があるのを見て、学習者はPECSブックから適切な絵カードを取り、CPのところに行き絵カードを交換する。	さまざまなモノ、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回、自立してできる。		



目標	基準	開始日	達成日
フェイズ 4			
ステップ 1. 様々な絵カードが並べられたPECSブックと、文末に「ください」カードが貼られた文カードがあれば、学習者は文カードの強化子の位置に強化子の絵カードを貼り、コミュニケーション・パートナー（CP）に文カードを渡して、欲しいものを要求する。	さまざまなモノ、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回で、自立してできる。		
ステップ 2. 様々な強化子の絵カード、「ください」カード、文カードが貼ってあるPECSブックがあれば、学習者は、強化子の絵カードと「ください」カードとを文カードに正しい語順で貼り、それをCPに渡して、欲しいものを要求する。	さまざまなモノ、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回で、自立してできる。		
ステップ3. 欲しいものがあつたら、学習者はコミュニケーション・ブックのところに行き、文カード全体を構成し、CPのところに行き、文カードを交換し、CPが文カードを「読む」間に各絵カードをタップする。	さまざまなモノ、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回で、自立して完了する。		
学習者が各絵カードをタップできるようになってから、発話を促すためにトレーナーが3～5秒の時間遅延を入れることを提案していますが、これはトレーナーの行動なので、PECSの目標としてはいません。			
4 - Ph. 2 維持. 部屋の反対側にある強化子を見て、学習者はPECSブックを取って、文カードを構成し、CPのところまで行って、文カードを交換する。	さまざまなモノ、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回で、自立してできる。		
フェイズ4を習得したら、1日を通して、属性とフェイズ5/6の学習が役に立つ。			

属性			
属性 ステップ 1. アイテムを2つ（青と緑のキャンディーのように欲しいものとそうでないもの）を見せられ、欲しい属性絵カード、欲しいアイテムの絵カード、と「ください」カードが横一列に貼られたPECSブックを渡されると、学習者は3枚の絵カードを正しい語順で文カードに貼って、コミュニケーション・パートナー（CP）に手渡す。	10回の機会のうち9回で、自立してできる。		
属性 ステップ 2. アイテムを2つ（欲しいものと欲しくないもの）を見せられ、属性の絵カード2枚（欲しい属性の絵カードと欲しくない属性の絵カード）、欲しいアイテムの絵カード、「ください」カードが貼られたPECSブックを渡されると、学習者は欲しい属性の絵カードを使って、3枚の絵カードを正しい語順で文カードに貼り、CPに渡す。	10回の機会のうち9回は、希望する属性少なくとも2種類のアイテム（赤いマーカーと赤いジュース）と、少なくとも3つの異なる属性について、自立してできる。		
属性 ステップ 3. 複数の属性絵カードが貼られたPECSブックを与えられ、欲しいアイテム（その中で属性の一つの要素が違うもの）を複数見せられると、学習者は属性の絵カードを使って正しい語順で文カードを構成して交換し、「取って」などと言われて、対応するアイテムを取ることができる【対応チェック】。	10回の機会のうち9回は、複数の属性絵カードについて、少なくとも5つのアイテム（複数の色の絵の具、マーカー、紙、ジュース、お菓子）について自立してできる。		
属性 - Ph. 2 維持: 属性の要素が1つだけ異なる複数の好きなアイテムが 部屋の反対側にあるのを見て、学習者はPECSブックを取り、CPのところに行き、正しく絵カードを貼った文カードを構成し、交換する。	10回の機会のうち9回で、さまざまなモノ、活動、CP、環境に関して自立してできる。		



目標	基準	開始日	達成日
フェイズ 5			
5a. 様々な形の「何が欲しいの?」の質問に対して、学習者は強化子の絵カードと「ください」カードで文カードを構成し、コミュニケーション・パートナー (CP) に手渡す。	10回の機会のうち9回で、さまざまなモノ、活動、CP、環境で、自立してできる。		
5b. 「何が欲しいの?」と聞かれたり、何かが欲しかったりすると、学習者はブックのところに行き、文カードを構成し、CPのところに行き文カードを交換する。	自発的または応答的に要求する機会がランダムに与えられている場合、様々なモノ、活動、CP、環境で、10回の機会のうち9回で自立してできる。		
5 - フェイズ2 維持: 学習者は、PECSブックのところに行き、文カードを構成し、CPのところに行き、文カードを交換して、自発的または応答的に望みのアイテムを要求する。	様々なモノ、活動、CP、環境で、自立してできることが、10回の機会のうち9回ある。		

フェイズ 6			
6 ステップ1. コメントの述語絵カードと身近なモノの絵カードのみが貼られたPECSブックがあると、それに対応するコメントの質問（「何が見える/聞こえる?」など）をされて、学習者はモノの絵カードとコメントの述語絵カードを文カードに貼り、コミュニケーション・パートナー (CP) に渡す。	文末絵カード: 様々なモノ、活動、CP、環境で、10回の機会のうち9回は、自立してできる。		
6 ステップ2. コメントの述語絵カードと「ください」カードを貼ったPECSブックがあるとき、コメントの質問や「何が欲しい?」の質問をランダムにされて、学習者は対象物の絵カードと正しい文末絵カードとで文カードを構成して答え、CPに文カードを手渡す。	ランダムに質問されても、どちらかの質問の答えとなるものが様々でも、10回の機会のうち9回は、自立してできる。		
6 ステップ3. 複数の述語絵カードが貼られたPECSブックにアクセスできると、学習者は自発的に「ください」の文末絵カードを使って欲しいものを要求する。	10回の機会のうち9回は、自立してできる。		
6 ステップ4. 見慣れたモノや音などをいつもとは違う状況で見聞きして、複数の述語絵カードが貼られたPECSブックがあると、学習者は自発的に正しいコメント述語絵カードを使って文カードを構成し、交換する。	様々な身近なモノについて、10回の機会のうち9回は、自立してできる。		
6 - Ph. 2 維持 部屋の中のモノが欲しかったり、環境内の出来事を経験したりすると、学習者はブックのところに行き、CPのところに行き、正しい文で構成された文カードを渡す。	様々なモノ、経験、活動、CP、環境について、10回の機会のうち9回は、自立してできる。		

重要なコミュニケーション・スキルの目標

以下の各目標をいつ開始するかについての推奨概要については、PECSマニュアルの365ページを参照するか、重要なコミュニケーション・スキル・チェックリスト(PECSマニュアルの343ページ)に記入して、生徒が次に学ぶ必要のある目標は以下の目標のうちのどれなのかを特定してください。

目標	基準	開始日	達成日
指示に応じる: 機能的な結果に関連する指示を口頭でしたり見せたりすると、学習者は正しく応じる。	部屋の____に行きなさいとか、____を取って来なさいと指示されたとき、10回の機会のうち9回は自立してできる。		
手伝って-a: 障害物や問題に遭遇した場合、学習者はコミュニケーション・パートナー(CP)に問題点を伝える、または指摘する。 注:この予備的なスキルを持っている人もいる	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
手伝って-b 障害物や問題に遭遇すると、学習者はCPに「手伝って」カードを持ってくる。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
手伝って-c 障害物や問題に遭遇したとき、学習者は「手伝って」のカードと「ください」の絵カードとを正しい語順で構成した文カードをCPのところに持ってくる。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
手伝って-d 障害物や問題に遭遇した場合、学習者は拡張された「手伝って」要求(「入れ物を手伝ってください」「開けるのを手伝ってください」「入れ物を開けるのを手伝ってください」)の文カードを構成し、CPのところに持ってくる。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
	a)「モノ」+「手伝って」+「ください」		
	b)「動詞」+「手伝って」+「ください」		
	c)「モノ」+「動詞」+「手伝って」+「ください」		
休憩: ストレスの多い状況では、学習者は「きゅうけい」のアイコンを交換する。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
待つ-a: 「まって」カードを渡されたら、学習者は静かに座っている/立っている。	少なくとも3種類の環境で、10回の機会のうち9回は自立してできる。		
	a) 0.5-5秒		
	b) 5-10秒		
	c) 30秒まで		
待つ-b: 「まって」カードを渡されたら、学習者は静かに座って/立って、自分で操作したり他者と操作しあったりするおもちゃ(強化効果の低いもの)を使って自分の時間を過ごす。 注:「まって」カードは、待ち時間が長くなる場合は、「タイマーカード(時間を知らせるもの)」を組み合わせることができる。	少なくとも3種類の環境で、10回の機会のうち9回は自立してできる。		
	a) 3分まで		
	b) 5分まで		
	c) 5分以上		
“いいえ” 好みではないものについて、「欲しいですか」「これが欲しいですか」と聞かれると、学習者は首を横に振って「いいえ」を伝える。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
	a) モノや活動が見えているとき		
	b) モノや活動が見えていないとき		
“はい” 好みのアイテムについて、「欲しいですか」「これが欲しいですか」と聞かれると、学習者は首を縦に振って「はい」を伝える。	10回の機会のうち9回は自立してできる。		
	a) モノや活動が見えているとき		
	b) モノや活動が見えていないとき		



目標	基準	開始日	達成日
交渉しよう-a: 強化子を選択した後、すでに習得している行動単位的(単一反応)課題をするように指示されると、学習者は課題をした直後に強化子を受け取る。	10回の機会のうち9回は、いくつかの強化子と課題に関してできる。		
交渉しよう-b: 強化子を選択した後、学習者は課題をこなし、トークンを受け取り、それを「交渉しよう」カードに貼って、そのトークンを大人に手渡してから強化子を受け取る。	10回の機会のうち9回は、いくつかの強化子と課題に関してできる。		
交渉しよう-c: 強化子を選択した後、学習者は課題中に間隔を置いてトークンを受け取り、それを「交渉しよう」カード[トークン・ボード]に貼っていき、課題をすべて完了したら、すべてのトークンを大人に手渡して、強化子を受け取る。	10回の機会のうち9回は、いくつかの強化子と課題に関してできる。		
活動間移行: 次に入手可能な強化子を見せ、次の活動に移行するように口頭でまたは視覚的に指示すると(「あそこに行つて」や「これをやって」)、学習者は不適切な行動を取らずに次の活動に移行する。	1日のうちに10回の機会のうち9回は、自立してできる。		
視覚的スケジュールに応じる: 登校したとき、または家で目覚めたとき、学習者は次のことを行う: 1. スケジュール表まで行き、一番上の絵カードを外す 2. その絵カードを「これからの活動」の枠に貼る 3. 活動をできる 4. スケジュール表に戻る 5. 「これからの活動」枠の絵カードをはずす 6. はずした絵カードを「おしまい」封筒に入れる 学習者はすべての活動移行に関してステップ2~6を繰り返す。	複数の活動(のスケジュール絵カードや文字カード)に関して、すべてのステップを自立してできる。		